

クイックインストール

MOBOTIX D71

© 2022 mobotix ag



BeyondHumanVision

MOBOTIX

V1.25_10/25/2022, Order Code : Mx-D71A-8DNxxx/Mx-D71A-4DNxxx

目次

目次	2
はじめに	5
サポート	6
安全に関する注意事項	6
法律上の注意事項	7
システムセキュリティに関する注意事項	9
ドリルテンプレート	11
ドリルテンプレート D71	12
納入品目	17
MOBOTIX D71：納入品目	18
マウンティング用品：納入品目	19
ウォールマウント：納入品目	20
イン・シーリング・セット：納入品目	21
技術仕様	23
ご注文について	24
ハードウェア	24
画像フォーマット、フレームレート、画像ストレージ	26
一般的な機能	27
動画解析	28
ビデオ管理ソフトウェア	28
モデルバリエーション	28
外形寸法図	30
マウント	31
カメラを取り付ける前に	33
保護対策	34
アンチグレアリングの装着	35
カメラレンズの調整	35
ドームの取り外し	36
カメラレンズの調整	37
ドームの取り付け	39
マウントオプション	39
アクセサリを使用しない場合のカメラの取り付け	40
オンウォールセットでの取り付け	42
イン・シーリング・セットによる取り付け	45
ウォールマウントでの取り付け	47
コーナーへの取り付け（コーナー/ポールマウント）	49

ポールへの取り付け（コーナー/ポールマウント）	52
カメラとの接続	53
USB-Cデバイスを接続する	53
I/Oデバイスの接続	53
カメラをネットワークに接続する	56
カメラを操作する	59
はじめに	60
ネットワーク設定	60
カメラのソフトウェア	67
ブラウザでカメラのウェブサイトアクセスする	68
基本設定	68
メンテナンス	71
microSDカードの交換	72
カメラのクリーニング	73

はじめに

このセクションには、次の情報が含まれています。

サポート	6
安全上の注意事項	6
法律上の注意事項	7

サポート

技術的なサポートが必要な場合は、MOBOTIX販売店にお問い合わせください。販売店が対応できない場合は、販売店がサポートチャンネルに連絡して、できるだけ早く回答を得られるようにします。インターネットにアクセスできる環境であれば、MOBOTIXのヘルプデスクを開いて、追加情報やソフトウェアのアップデートを確認することができます。こちらをご覧ください。

www.mobotix.com > Support > Help Desk



安全上の注意事項

- 本製品は爆発の危険性がある場所では使用しないでください。
- 埃の多い環境では使用しないでください。
- 本製品は、湿気や水が入らないように保護してください。
- 本製品は、本書に記載されたとおりに設置してください。誤った取り付けをすると、製品が破損することがあります
- この機器は、子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- Class Iのアダプターを使用する場合、電源コードは適切なアース接続でコンセントに接続する必要があります。
- 24時間365日稼働する警告システムの電源に関するEN 50130-4の要件に準拠するために、本製品の電源供給に無停電電源装置（UPS）を使用することを強く推奨します。
- この装置は、他のネットワークにルーティングすることなく、PoEネットワークにのみ接続します。

NOTE：カメラの機能を最大限に活用するために、「MOBOTIX MOVE 設置のヒント」を参照してください。

法律上の注意事項

映像・音声収録の法的側面

MOBOTIX製品を使用する場合、ビデオおよび音声の監視に関するすべてのデータ保護規制を遵守する必要があります。各国の法律やカメラの設置場所によっては、映像・音声データの記録が特別な書類で規定されていたり、禁止されている場合があります。したがって、MOBOTIX製品のすべてのユーザーは、適用されるすべての法規を熟知し、これらの法規を遵守する必要があります。MOBOTIX社は、その製品の違法な使用に対して責任を負うものではありません。

適合性宣言

MOBOTIX社の製品は、ECおよびその他の国の該当する規制に従って認証されています。MOBOTIX社の製品の適合宣言は、www.mobotix.com の Support > Download Center > Marketing & Documentation > Certificates & Declarations of Conformity でご覧いただけます。

RoHS宣言

MOBOTIX社の製品は、欧州連合の電気・電子機器における特定有害物質の使用制限（RoHS指令 2011/65/EC）に準拠しています（MOBOTIXのRoHS宣言については、www.mobotix.com, Support > Download Center > Marketing & Documentation > Brochures & Guides > Certificates をご覧ください）。

廃棄処分

電気・電子製品には多くの貴重な物質が含まれています。このため、MOBOTIX製品は、使用期間が終了したら、すべての法的要件および規制に従って廃棄することをお勧めします（または、製品を自治体の収集センターに預けてください）。MOBOTIX製品は、家庭ゴミとして廃棄してはいけません。製品にバッテリーが搭載されている場合、バッテリーは個別に廃棄してください（製品に電池が搭載されている場合は、対応する製品のマニュアルに具体的な方法が記載されています）。

免責事項

MOBOTIX社は、不適切な使用やマニュアルや適用される規則や規制従わなかった結果生じた損害については、一切の責任を負いません。当社の一般取引条件が適用されます。一般取引条件の最新版は、当社のウェブサイトwww.mobotix.comから、各ページの下部にある対応するリンクをクリックすることでダウンロードすることができます。

FCC免責事項

この機器は、FCC規則のパート15に準拠したクラスAデジタル機器の制限に準拠していることがテストにより確認されています。これらの制限は、機器が商用環境で使用される場合に、有害な相互干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用、および放射することがあり、取扱説明書に従って設置、使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機器を住宅地で使用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。このような場合、ユーザーは自費で障害を修正する必要があります。

システムセキュリティに関する注意事項

データ技術におけるセキュリティリスクからカメラを保護するために、インストール完了後、以下の対策を推奨します。

MxManagementCenter :

- Menu View > Wizards & Tools > Secure System:
 - カメラの工場出荷時のパスワードを変更する: ✓
 - 暗号化された HTTPS を有効にする: ✓.
 - パブリックアクセスを無効にする: ✓
 - ユーザー管理 (全ユーザー対象)
 - 複雑なパスワードを強制する: ✓
 - 非アクティブ時にログアウトする: 5分後

ブラウザ上のカメラのユーザーインターフェース :

- Admin Menu > Network Setup > Web Server:
 - MxWebを有効にする: -
 - 侵入検知を有効にする: ✓
 - 通知のしきい値: 10
 - タイムアウト: 60分
 - IPアドレスをブロックする: ✓

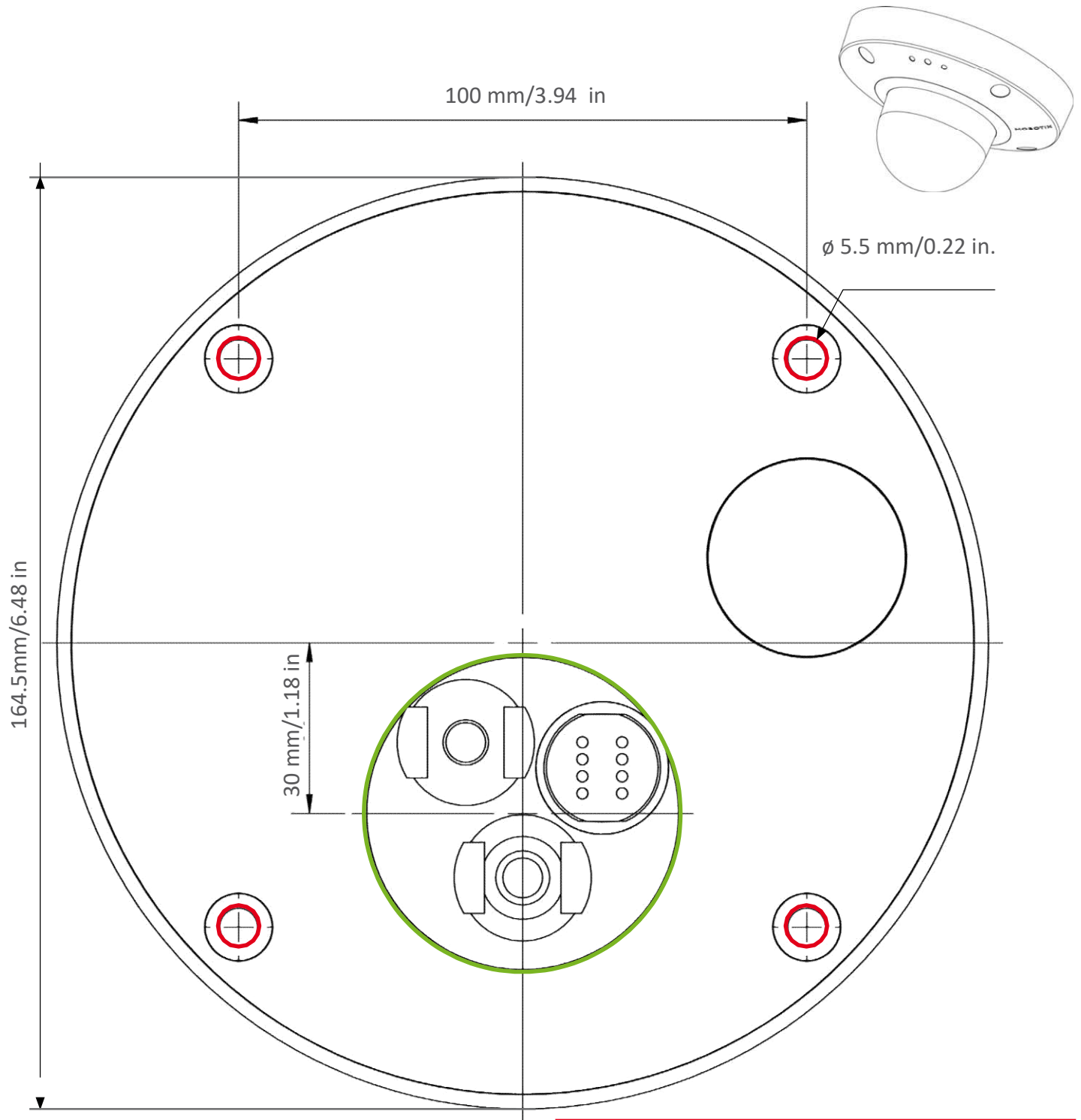
この新機能の詳細については、www.mobotix.com (under Support > Download Center > Documentation > Brochures & Guides > Cyber Security)の「Cyber Protection Guide」をご覧ください。


ドリルテンプレート

このファイルをPDFビューワー（Acrobat Reader、Foxit Readerなど）で開き、拡大縮小せずに印刷して下さい。（オリジナルサイズ）。

NOTE !MOBOTIXのウェブサイトからドリルテンプレートをダウンロードして下さい：www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates

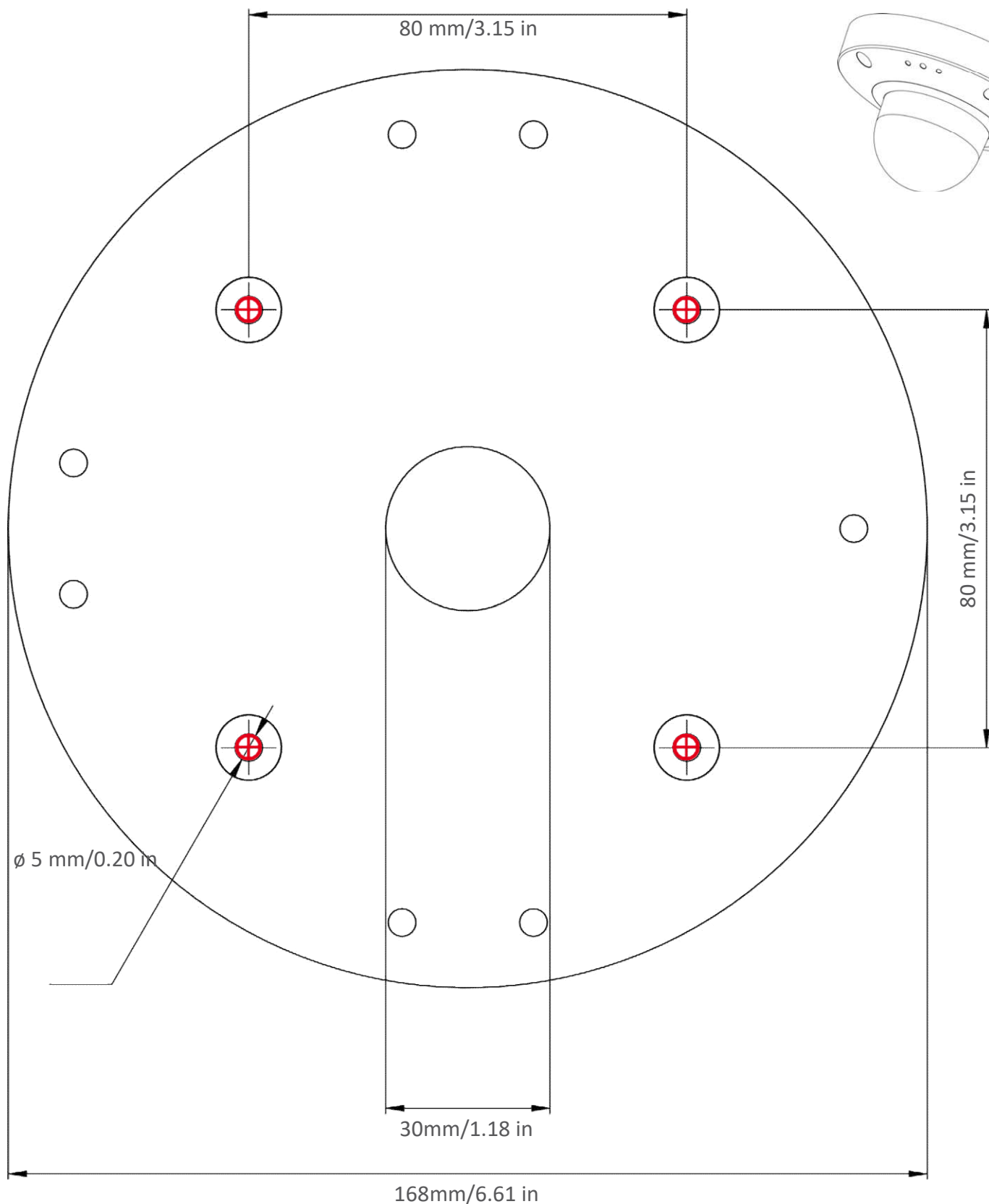
注意：ドリルテンプレートは常にオリジナルサイズの100%で印刷またはコピーをしてください。



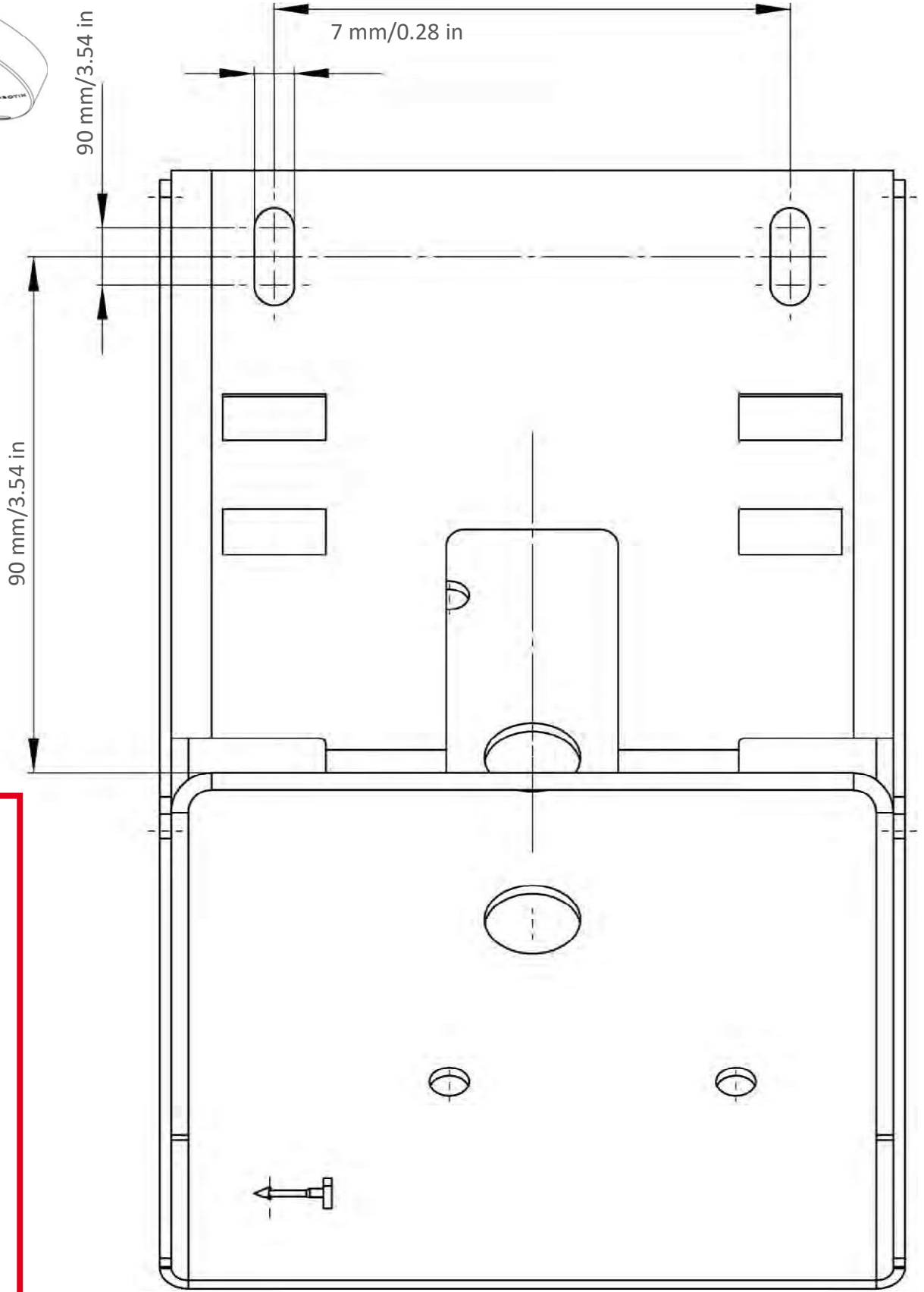
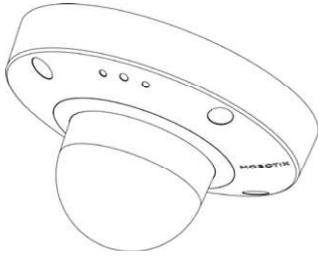
 Ausschnitt für Kabel und Anschlüsse
ケーブルおよびコネクタ用カットアウト
Découpe pour les câbles and les connexions



Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!
コピーや印刷は必ずオリジナルサイズの100%で行って下さい。
Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !

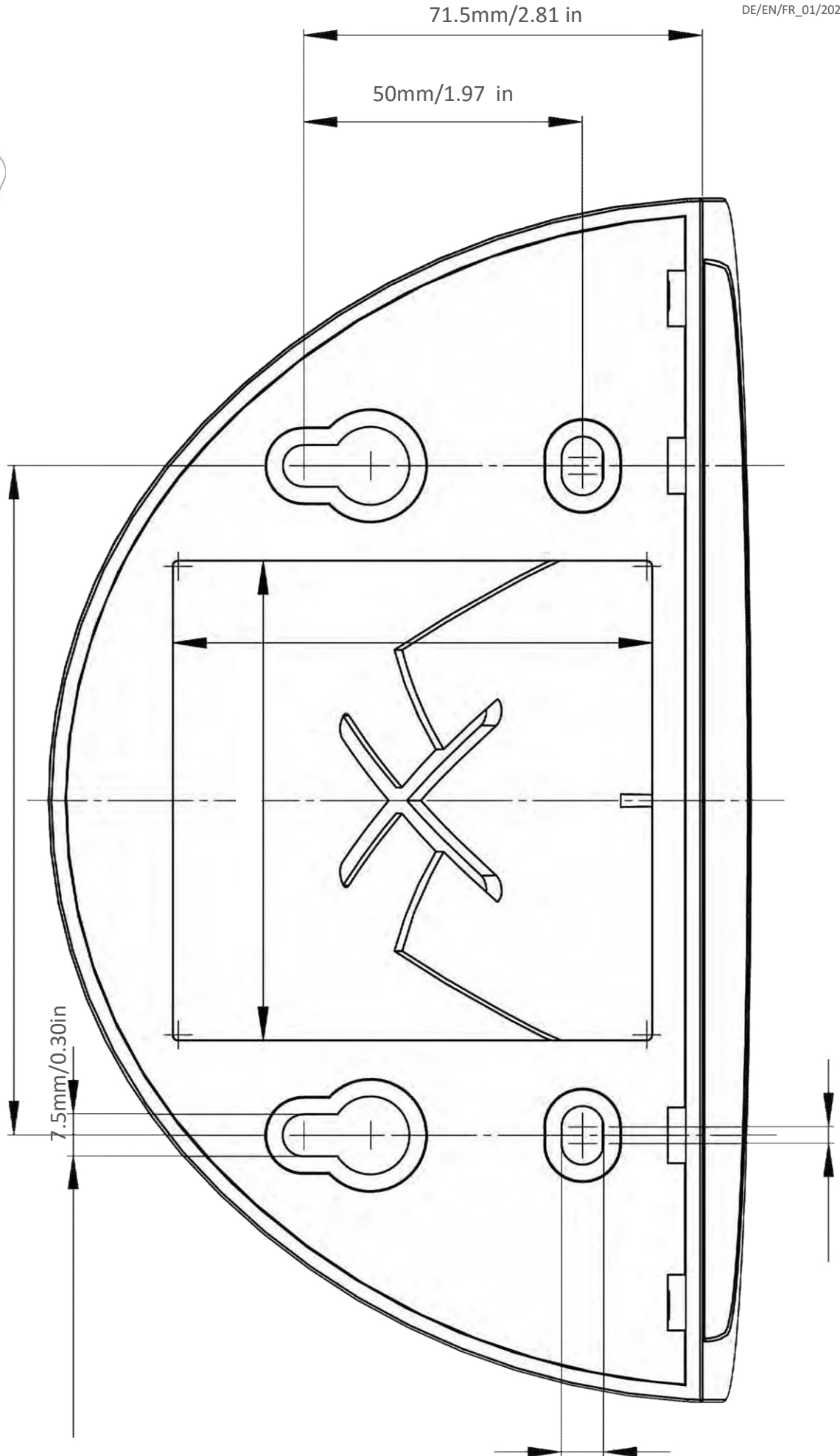
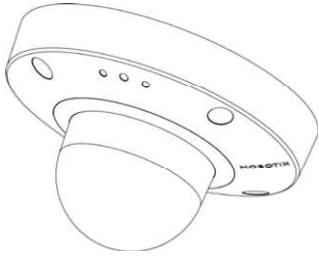


Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!
コピーや印刷は必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。
Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !

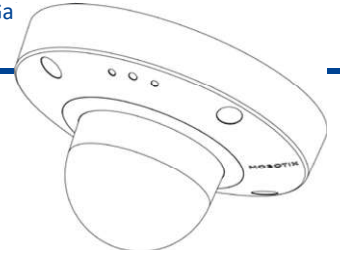


Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!
コピーや印刷は必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。
Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !





86 mm/3.39 in



∅ 200 mm / 7.87 in



Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!

コピーや印刷は必ずオリジナルサイズの100%で行って下さい。

Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !

MOBOTIX AG - Kaiserstrasse - D-67722 Langmeil sales@mobotix.com www.mobotix.com

MOBOTIX ist ein eingetragenes Warenzeichen der MOBOTIX AG in der Europäischen Union, den USA und in anderen Ländern. Änderungen vorbehalten. MOBOTIX übernimmt keine Haftung für technische Fehler, Druckfehler oder Auslassungen. Alle Rechte vorbehalten. © mobotix ag 2021 www.mobotix.com > Support > Download Center > Dokumentation > Zertifikate & Konformitätserklärungen

MOBOTIXは、欧州連合、米国、およびその他の国で登録されたMOBOTIX AGの商標です。予告なく変更されることがあります。MOBOTIXは、本書に含まれる技術的または編集上の誤りや脱落について、いかなる責任も負いません。無断転載を禁じます。 © mobotix ag 2021

MOBOTIX est une marque déposée de MOBOTIX AG en Union Européenne, aux États-Unis et dans d'autres pays. Susceptible de modification sans préavis. MOBOTIX ne se tient responsable d'aucune erreur technique ou de rédaction, ni d'omission dans le présent document. Tous droits réservés. © MOBOTIX AG 2021 www.mobotix.com > Support > Centre de téléchargement > Documentation > Certificats > Déclarations de conformité



納入品目

このセクションには、次の情報が含まれています。

MOBOTIX D71：納入品目 _____	18
マウント用品：納入品目 _____	19
ウォールマウント：納入品目 _____	20
イン・シーリング・セット：納入品目 _____	21

MOBOTIX D71 : 納入品目



図1 : MOBOTIX D71本体の納入品目

項目	数量	説明
1.1	1	I/Oドーム、白色（装着済み）
1.2	1	USBプラグ、青色（装着済み）
1.3	1	USBポート用バヨネットキャッチ、ブルー（装着済み）
1.4	1	イーサネットプラグ、青色（装着済み）
1.5	1	Ethernetポート用バヨネットキャッチ、ブルー（装着済み）
1.6	1	イーサネットパッチケーブル RJ45 50cm
1.7	1	SDカードカバー（装着時）
1.8	1	SDカード 8GB（装着済み）
1.9	1	取付部品（『MOBOTIX D71取付部品の納入品目』 P.19 参照）
1.10	1	重要な安全情報
1.11	1	カメラ接続フライヤー
1.12	1	カメラのEAN番号を記載したステッカー

MOBOTIX D71ボディの納入品目

1.13	1	カメラのIPアドレスを記載したシール
1.14	2	アンチグレアリング

マウント用品：納入品目

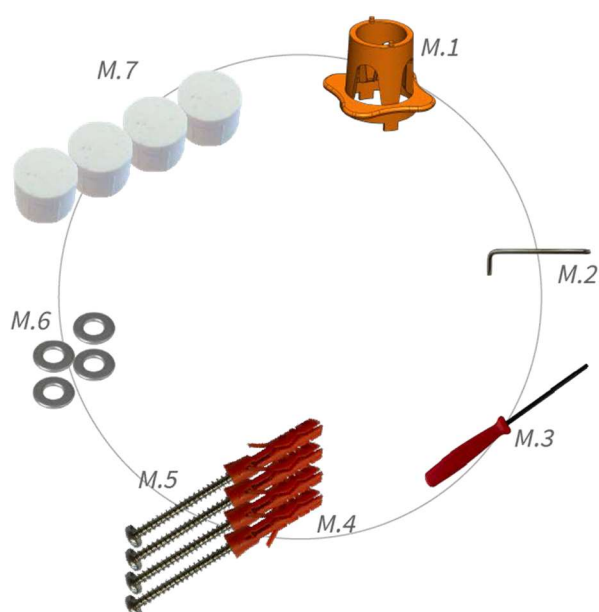


図2：MOBOTIX D71取り付け用品の納入品目

項目	数量	説明
M.1	1	D71レンズレンチ オレンジ
M.2	1	トルクスレンチ 3.5mm
M.3	1	六角レンチ 2.5mm
M.4	4	ダボ 8mm
M.5	4	ステンレス製皿小ねじ 4.5x60mm
M.6	4	ステンレス製ワッシャー Ø5.3 mm
M.7	4	シーリングプラグ, 白

ウォールマウント納入品目

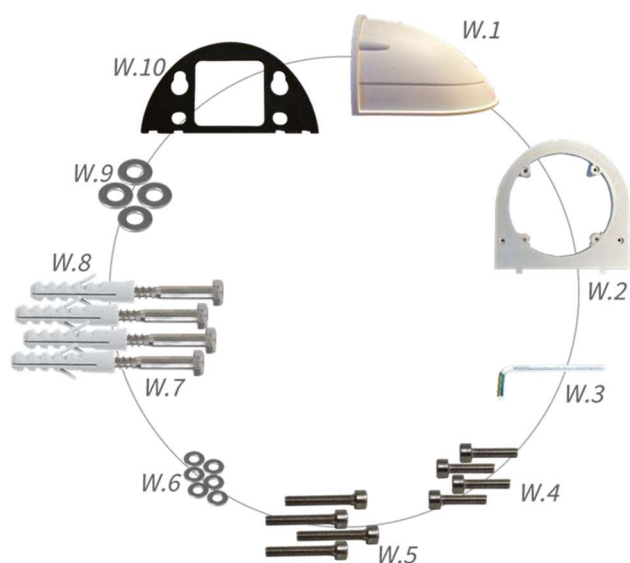


図3：納入品目 ウォールマウント

項目	数量	説明
W.1	1	ウォールマウントアッパーシェル、ホワイト
W.2	1	底板、白
W.3	1	六角レンチ 3mm
W.4	2	ステンレス製六角穴付きネジ 4x18mm
W.5	4	ステンレス製六角ネジ4x40mm
W.6	6	ステンレスワッシャー Ø4.3 mm
W.7	4	ステンレス製六角穴付きネジ 6x50 mm
W.8	4	ダボ 8mm
W.9	4	ステンレスワッシャー Ø6.3 mm
W.10	1	粘着式ウォールシーリング、ブラック

イン・シーリング・セット納入品目

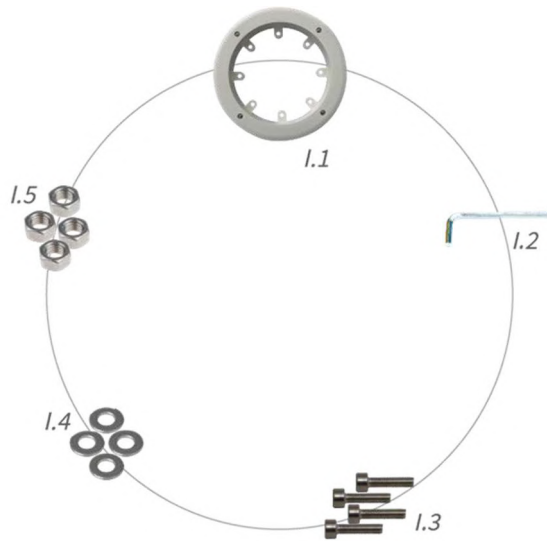


図4：納入品目 ウォールマウント

項目	数量	商品説明
I.1	1	インシーリング・セット
I.2	1	六角レンチ 5mm
I.3	4	ステンレス製六角ネジ M6x30 mm
I.4	4	ステンレスワッシャーM6
I.5	4	ステンレス製六角ナットM6

技術仕様

このセクションには、次の情報が含まれています。

注文方法	24
ハードウェア	24
画像フォーマット、フレームレート、画像ストレージ	26
一般的な機能	27
動画解析	28
ビデオ管理ソフトウェア	28
モデルバリエーション	28
外形寸法図	30

注文方法

名称	MOBOTIX D71
注文コード	Mx-D71A-8DNxxx/Mx-D71A-4DNxxx

ハードウェア

イメージセンサー (DN)	4K, 3840x2160/4MP, 2688x1512
光感度	<ul style="list-style-type: none">■ カラーセンサー (デイ)。0,1 lx @ 1/60秒; 0,005 lx @ 1秒■ BWセンサー (夜間)。0,02 lx @ 1/60 s; 0,001 lx @ 1 s
露出制御	マニュアル/オートマチックモード 1秒~1/16,000秒
ビデオコーデック	<ul style="list-style-type: none">■ H.264、■ H.265 (トリプルストリーミング) 、■ MxPEG+、■ MJPEG
IK保護等級	IK10
IP保護等級	IP66
動作温度範囲	-40~65°C-40~149
最低コールドスタート温度	-30 °C/-22 °F
相対湿度	95 % 結露なし
内蔵DVR (設定不要)	MicroSDカード (8GB) 、 MxPEG+記録のみ

<p>入出力</p>	<p>INPUT</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 接点入力（ガルバニックアイソレーション不要）または最大50V AC/DC ■ ケーブルの最大長：50m <p>OUTPUT</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プルアップ抵抗と外部電源が必要（10mA / 最大50V DC - ACなし） ■ ケーブルの最大長：接続するケーブルのループインピーダンスに依存 <p>PCB端子に接続されるケーブルの仕様：</p> <p>導体断面積</p> <p>AWG20 - 26</p> <p>リジッド0.14mm² - 0.5 mm²</p> <p>Flexible0.14mm² - 0.5 mm²</p> <p>Flexible with ferrule0.25 mm² - 0.34mm²</p>
<p>マイク/スピーカー</p>	<p>内蔵マイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 感度：-35 dB +/-4 dB (0 dB = 1 V/pa, 1 kHz) <p>内蔵スピーカー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 0.9 W at 8 Ohm <p>ラインイン / ラインアウト</p>
<p>内蔵照明</p>	<p>IR 最大30m/100ft</p> <p>(シーンによってはより長い可能性有)</p>
<p>衝撃検知器 (タンパー検知)</p>	<p>○</p>
<p>最大消費電力</p>	<p>最大25 W</p>
<p>電気サージ保護</p>	<p>MX-Overvoltage-Protection-Box（別売）との組み合わせが可能</p>
<p>PoE規格</p>	<p>PoE Plus (802.3at-2009)/Class 4 (Class3はHWスイッチで有効化可能。 注：IRイルミネーションはClass4が必要)</p>
<p>インターフェイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ イーサネット1000BaseT（EIA/TIA-568B準拠RJ45） ■ USB-C/USB2.0; High-Speed (Vout = 5.1 V, Iout = 0.9 A, Pout = 4.5 W)
<p>マウントオプション</p>	<p>壁掛け・天井取付可能</p>

外形寸法 (Ø x height)	164 x 96 mm
重量	総重量 : 1.180g
ハウジング	アルミニウム、PBT-30GF
標準付属品	MOBOTIX D71 : 納入品目
詳細な技術資料	www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation
MTBF	80,000時間
証明書	EN 50121-4:2015, EN 50581:2012, EN 55032:2012+AC:2013, EN 55035:2017, FprEN 61000-6-1:2015, EN 61000-6-2:2015, EN 61000-6-3:2007+A1:2011+AC:2012, EN 61000-6-4:2007+A1:2011, EN 62368-1:2014 + AC: 2015 + A11: 2017 + AC: 2017, IEC 60950-22:2016, AS/NZS CISPR32:2015, 47 CFR Part15b.
プロトコル	DHCP (クライアントおよびサーバー) 、 DNS、 ICMP、 IGMP v3、 IPv4、 IPv6、 HTTP、 HTTPS、 FTP、 FTPS、 NFS、 NTP (クライアントおよびサーバー) 、 RTP、 RTCP、 RTSP、 SFTP、 SIP (クライアントおよびサーバー) 、 SMB / CIFS、 SNMP、 SMTP、 SSL / TLS 1.3、 UDP、 VLAN、 VPN、 Zeroconf / mDNS
メーカー保証	3年

画像フォーマット、フレームレート、画像ストレージ

利用可能なビデオコーデック	MxPEG+ / MJPEG / H.264 / H.265
画像解像度	VGA 640x360、 XGA 1024x576、 HD 1280x720、 FullHD 1920x1080、 QHD 2560x1440、 4K UHD 3840x2160
H.264マルチストリーミング	トリプルストリーミング
RTSPによるマルチキャストストリーム	○
最大画像解像度	4K UHD 3840x2160 / 4MP 2688x1512
最大フレームレート	MxPEG : 20@4k, H.264 : 30@4k, H.265 : 30@4k

特徴

WDR	最大120dB
ソフトウェアの機能	<ul style="list-style-type: none"> ▪ H.264、H.265マルチストリーミング ▪ RTSPによるマルチキャストストリーム ▪ デジタルパン・チルト・ズーム/vPTZ(最大8倍ズーム) ▪ Genetec社プロトコル統合 ▪ カスタム露光ゾーン ▪ スナップショット記録 (アラーム前/後画像) ▪ 連続記録 ▪ イベント記録 ▪ 時間制御可能なフレキシブル・イベント・ロジック ▪ 録画とアクションの週間スケジュール ▪ FTPやメールによるイベント映像・画像の転送 ▪ ウェブブラウザ経由での再生とQuadView ▪ 画像上のアニメーションロゴ ▪ マスター/スレーブ機能 ▪ プライバシーゾーンのスケジューリング ▪ リモートアラーム通知 (ネットワークメッセージ) ▪ プログラミングインターフェイス (HTTP-API) ▪ MxMessageSystem
ONVIF互換性	プロファイル G, S, T
マスター/スレーブ機能	○
リモートアラーム通知	電子メール、ネットワーク・メッセージ (HTTP/HTTPS) 、SNMP、MxMessageSystem
DVR/ストレージ管理 (MxPEG+のみ)	カメラ内のmicroSDカード、外部USBおよびNASデバイス、ライブ画像および録画用の異なるストリーム、バッファードアーカイブ付きMxFFS、アラーム前後の画像、エラーレポート付きストレージ監視
カメラとデータの セキュリティ	ユーザー・グループ管理, SSL接続, IPベースのアクセス制御, IEEE 802.1X, 侵入検知, デジタル画像署名

ビデオ分析

ビデオモーション検知	○
MxActivitySensor	バージョン1.0、2.1、オブジェクトベースのMxAnalytics AI
MxAnalytics	ヒートマップ、人数 カウント、オブジェクトベースカウント
MOBOTIX認定App対応	○

ビデオ管理ソフトウェア

MOBOTIX HUB	○ www.mobotix.com > Support > Download Center > Software Downloads
MxManagementCenter	○ (MxMC 2.2以上) www.mobotix.com > Support > Download Center > Software Downloads
MOBOTIX LIVEアプリ	○ AndroidおよびiOSのApp Storeで利用可能です。

モデルバリエーション

注文コード	水平画角
4Kイメージセンサー (3840x2160)	
Mx-D71A-8DN050	95°
Mx-D71A-8DN080	60°
Mx-D71A-8DN100	45°
Mx-D71A-8DN150	30°
Mx-D71A-8DN280	15°
4MPイメージセンサー (2688x1512)	
Mx-D71A-4DN050	95°

注文コード	水平画角
Mx-D71A-4DN080	60°
Mx-D71A-4DN100	45°
Mx-D71A-4DN150	30°
Mx-D71A-4DN280	15°

MOBOTIXカメラ用レンズの完全なリストについては、www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation > Lens TableのMOBOTIX 7 models用Lens Table ドキュメントをご覧ください。

外形寸法図

NOTE : MOBOTIXのウェブサイト www.mobotix.com > Support > Down- load Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates から、ドリルテンプレートをダウンロードして下さい。

注意 : ドリルテンプレートは、必ず元のサイズの100%で印刷またはコピーしてください。

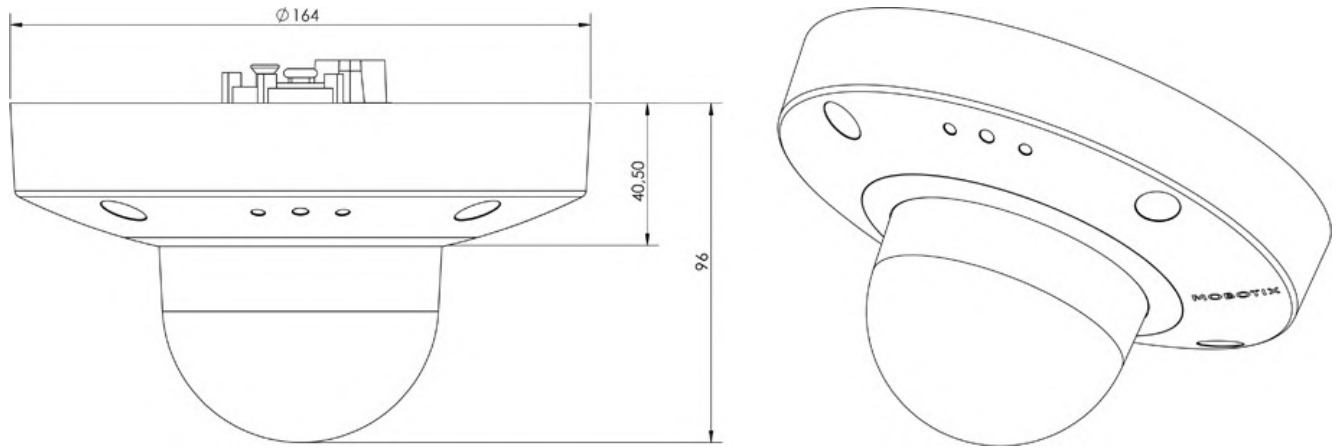


図5 : MOBOTIX D71 : すべての寸法はmm単位

マウント

このセクションには、次の情報が含まれています。

カメラを取り付ける前に	33
保護対策	34
アンチグレアリングの装着	35
カメラレンズの調整	35
ドームの取り外し	36
カメラレンズの調整	37
ドームの取り付け	39
マウントオプション	39
アクセサリを使用しない場合のカメラの取り付け	40
オンウォールセットでの取り付け	42
インシーリング・セットでの取り付け	45
ウォールマウントでの取り付け	47
コーナーへの取り付け（コーナー/ポールマウント）	49
ポールへの取り付け（コーナー/ポールマウント）	52
カメラとの接続	53
USB-Cデバイスを接続する	53

I/Oデバイスの接続	53
カメラをネットワークに接続する	56

カメラを取り付ける前に

注意：カメラを取り付ける前に、カメラ筐体裏面またはカメラパッケージに記載されているIPアドレス①を必ずコピーしておいてください。このアドレスは、後でブラウザでカメラを設定するときに必要なになります（「カメラソフトウェア」P.67を参照）。



MOBOTIX D71は、壁掛け用に設計されています。オプション品を使用すると、次のようにカメラを設置することもできます。

- 下向きの壁に取り付ける場合は、壁掛け用マウントを使用します。P.47
- ポールへの取り付けには、コーナー/ポールマウントとウォールマウントを使用します。
（「コーナー/ポールマウント」を参照）、P.52.
- 建物のコーナーに取り付ける場合は、コーナー/ポールマウントとウォールマウントを使用します。
（「コーナー/ポールマウント」を参照）。P.49

NOTE：MOBOTIXのウェブサイト www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates から、ドリルテンプレートをダウンロードして下さい。

注意：ドリルテンプレートは、必ず元のサイズの100%で印刷またはコピーしてください！

MOBOTIX D71を取り付ける前に、以下の質問の答えを準備する必要があります。

- カメラはどこに、どのように設置するのですか？
- 取り付け面の高さは？
- 他にどのようなマウントオプションがありますか？
- 必要なアクセサリは何ですか？
- カメラのネットワークへの接続方法と電源供給は？
- 建物からの接続はどのように行われるのでしょうか？
- ケーブル配線にはどのような配慮が必要ですか？
- より大容量SDカードを使用したいですか（「microSDカードの交換」P.72参照）。

さらにご質問がある場合は、MOBOTIXの販売店にお問い合わせください。

保護措置

警告：屋内および屋外にケーブルを敷設する場合は、ケーブル敷設、雷および防火に関する現行の規制を常に遵守する必要があります。

MOBOTIXのカメラは、様々な対策により、軽度の過電圧の影響から保護されています。しかし、これらの対策では、より大きなサージ電圧によるカメラの破壊を防ぐことはできません。そのため、カメラを屋外に設置する場合は、雷対策とそれに伴う建物やネットワークインフラへの危険性に特別な注意を払う必要があります。

一般に、MOBOTIXカメラの設置は、ネットワーク機器の設置や安全な操作、雷や火災の保護、サージ電圧による損傷を防止するための最新の技術に精通している認定専門業者にのみが行います。

ケーブル敷設時の注意点

- データケーブル：イーサネットインターフェースのデータケーブルは、2重シールドCAT5ケーブル以上（S/STP）を使用してください。

NOTE：

屋外で使用する場合は、使用するケーブルと雷保護に特別な要件が適用されます。

- ケーブル長：データを確実に伝送するために、個々のケーブルの長さは最大許容長を超えないようにして下さい。
- 誘導の回避：データケーブルは、規定の最小距離が守られている場合のみ、電力線や高圧線と平行に敷設することができます。
- IP66に準拠した耐候性を保証するために、センサーモジュール、パッチケーブルおよびUSBケーブルの接続には、MOBOTIXの純正ケーブルのみを使用してください。追加のケーブル（MxBus、オーディオ）が必要な場合は、付属のプラグを使用する必要があります。

防火対策

電源ケーブルの敷設にあたっては、各国の関連法規（例：ドイツのVDEなど）および設置場所で有効な防火規則を遵守する必要があります。

雷・サージ保護

電氣的サージからカメラを保護するために、常に対策が必要です。

NOTE :

MX-Overvoltage-Protection-Box(別売)を使用することで、サージ対策も可能です。

雷や過電圧による被害を防ぐための詳しい情報は、雷や過電圧の保護装置のメーカーから入手できます。

アンチグレアリングの装着

アンチグレアリングは、カメラ画像に悪影響を及ぼすグレアの影響からレンズを保護するために使用されます。

1. ドームを外す（『ドームの取り外し』P.36参照）
2. アンチグレアリング 1.14 (p.19) の粘着面の保護フィルムをはがします。
3. アンチグレアリング①の粘着面をレンズ周囲の凹部に注意深く押し込んでください。



カメラレンズの調整

カメラの取り付け位置を調整することで、後で希望する視野を確保することができます。

注意：カメラの画像フォーカスや視野を調整するときは、必ずカメラのライブ画像がモニターに表示されていることを確認してください。ブラウザでのカメラソフト（P.67）を参照してください。

ドームの取り外し

1. クランプリング①のカバーを反時計回りに抵抗を感じるまで回して外す。



2. 付属の六角レンチでクランプリングから4本の固定ネジを緩めます。慎重にドームを引き抜いてください。



3. ドームを上引き抜きます。

カメラレンズの調整

1. レンズマウントの左右にある2本の六角ネジ①を、付属の六角レンチで緩めます。



2. レンズマウントを回転②、パン③して、カメラの向きを合わせます。

注意：カメラの向きを調整するときは、絶対に無理な力を加えないでください。



3. レンズマウントの左右にある2本の六角レンチを締めます。

4. レンズレンチ（オレンジ色のM.1、P.19）でレンズを回して、レンズ④を調整します。

NOTE：焦点を合わせた後、ドームの光学特性により、焦点をさらに調整する必要があります。

この表は、取り付けられたドームに対物レンズを最適に調整するために必要なおよその回転を示しています。

レンズ	回転数（反時計回り）	角度（反時計回り）
95°/5mm	～ 0	～ 0°
60°/8mm	～ 1/16	～ 22.5°
45°/10mm	～ 1/8	～ 45°
30°/15mm	～ 1/4	～ 90°
15°/28mm	～ 1	～ 360°



5. 必要に応じて、糸くずの出ない清潔な綿布で光学面を清掃してください。
6. アンチグレアリングが装着されていない場合は、レンズにリングを装着します（「アンチグレアリングの装着」P.35参照）。
7. ドームとクランプリングを再びはめ込み、付属の六角レンチで固定用ネジ4本を締め付けます。

ドームの取り付け

1. ドームとクランプリングを挿入し、付属の六角レンチで4本の固定用ねじを締め付けます。



2. 時計回りに抵抗がなくなるまで回して、クランプリング①のカバーを装着する。

注意：カメラの向きを調整するときは、絶対に無理な力を加えないでください。



マウントオプション

MOBOTIX D71は、アクセサリなしで壁や天井など、どんな表面にも取り付けることができます。

取付用アクセサリ

- ウォールマウントは、カメラが下向きになるような設置に最適なマウントオプションです。
- ウォールマウントとステンレス製のコーナー/ポールマウントを使用すれば、直径180mmまでのポールや90°コーナーに取り付けることも可能です。

すべての取り付け方法において、配線が隠れるため、設置の安全性が向上します。

マウント

マウントオプション

注意：平らな面にのみ設置して下さい。凹凸は0.5mmを超え内容にして下さい。耐候性を保証するために、MOBOTIX純正のパッチ・ケーブルのみを使用して下さい。

NOTE：カメラを取り付ける前に、理想的な位置を決め、視野を遮るものがないか確認します。カメラを取り付けたら、画像の微調整を行います。監視エリアが変わったり、カメラを別の場所に設置する必要がある場合は、レンズを交換することができます。

アクセサリを使用しない場合のカメラの取り付け

MOBOTIX D71は、壁や天井に直接簡単に設置することができます。付属品なしで設置する場合、カメラ背面のコネクターにスペースが必要なため、まずフラッシュマウントのコンセントを設置する必要があります。

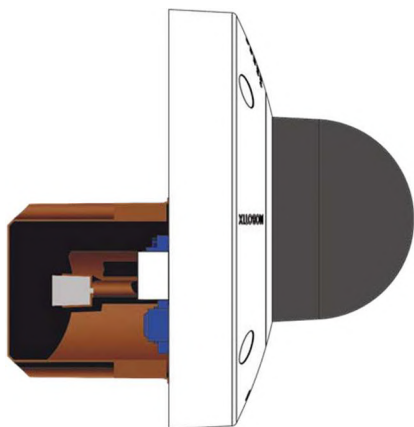


図6：フラッシュ・マウント・ウォール・コンセント上のMOBOTIX D71の側面図

カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源のあるネットワーク接続が可能であることを確認してください（「カメラの接続」P.1 を参照）。

NOTE：取付面が木製の場合はダボを使用しないでください。ネジのみを使用して、取り付けプレートが表面に直接固定してください。木材へのねじ込みを容易にするために、たとえば 2 mm のドリルを使用して、最初に位置に穴をあけておくとい良いでしょう（穴あけの深さは、ねじの長さより少し短め）。

手順

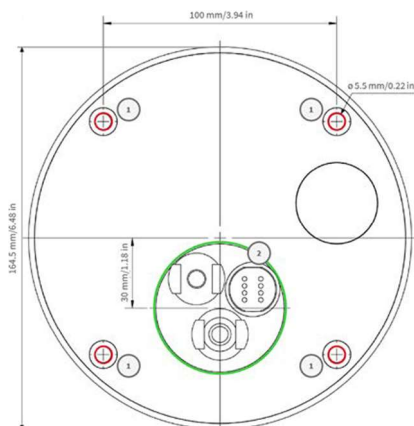


図7：ファスナースクリュー（赤丸）とフラッシュマウントコンセント（緑丸）を配置するための穴をあけたドリルテンプレート

1. 穴あけ用テンプレート（PDFのドリルテンプレート用テンプレートを参照）を使って、穴あけ用①の印をつける。穴あけの際は、適切な8mmのドリルビットを使用し、60mm/1.2以上の深さの穴をあけてください

NOTE：ドリルテンプレートには、ドリル穴に加えて、コンセントの最小サイズと位置を示す円②も含まれています。

2. ダボ M.4 (p.19) を、開けた穴に完全に押し込んでください。
3. カメラのPoEネットワーク接続を確立してください（「カメラをネットワークに接続する」P.56参照）。
4. 付属の皿小ネジM.5 (P.19) を使って、カメラを取り付ける。

オンウォールセットでの取り付け



注意!カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源のあるネットワーク接続が可能であることを確認してください（「カメラをネットワークに接続する」を参照）。

0°と10°の傾斜で利用できるオンウォール・セットは、MOBOTIX D71を壁や天井に簡単に取り付けることができます。IP65の耐候性（防塵・耐噴流性）を維持しています。オンウォールセットは、RJ45のコンセントもカバーし、追加モジュール（WiFi、バッテリーなど）のための十分なスペースを確保しています。

10°オンウォールセットは、MOBOTIX D71を、レンズが垂直下向き（90°以上）になるように壁に取り付けたい場合に適しています。

NOTE：10°オンウォールセットを使用しない場合、デザイン上の理由により、レンズの角度は80°を超えないことがあります。

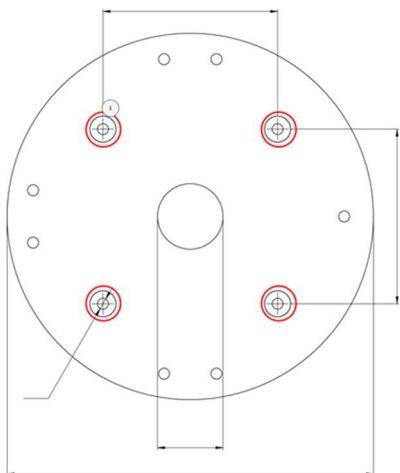
NOTE !MOBOTIXのウェブサイト www.mobotix.com > Support > Down- load Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates から、ドリルテンプレートをダウンロードしてください。

注意：ドリルテンプレートは、必ず元のサイズの100%で印刷またはコピーしてください!

NOTE：設置面が木材の場合は、ダボを使用しないでください。取付板を直接固定する場合は、ネジのみを使用してください。木材にネジを打ち込む際には、2mmのドリルであらかじめ穴を開けておくと良いでしょう（穴の深さはネジの長さよりやや浅めに）。

手順

1. 穴あけ用ドリルテンプレート (P.11「ドリルテンプレート」参照) を使って、穴あけ用の穴①をマーキングします。穴あけの際は、適切な8mmのドリルビットを使用し、60mm以上の深さで穴をあけてください。
2. ダボ W.8 (P.20) を、開けた穴に完全に押し込んでください。



3. 0°セットを使用する場合 付属のクロージングプラグで不要なケーブル開口部②を塞いでください。それぞれを内側から小さな六角ナットで固定します。



4. ケーブルグランド③をオンウォールセットのケーブル開口部に、黒いゴムパッキンが外側になるように装着します。内側から小さな六角ナットで固定する。



5. 付属のトルクスネジでオンウォールセット（カメラなし）を目的の位置に取り付ける ④.



6. ネットワークケーブルにカウンターナット⑤を取り付け、外側からシールに通し、ナットを締める。ネットワークケーブルをOn-Wall Setにねじ込み、耐候性を確保した状態です。



7. 現場のネットワークケーブルとカメラのパッチケーブルは、標準のコネクターで接続します。余分なケーブルは、オンウォールセット内に簡単に収納できます（「カメラの接続」P.53参照）。
8. カメラ前面のゴムプラグを外す。



9. 付属の六角レンチW.2 (p.20) を使って、六角ネジW.5 (p.20) とワッシャーW.6 (p.20) を各4個、オンウォールセットの底板にカメラを固定します。

10. ゴムプラグM.7 (P.19)をカメラのネジ穴に押し込む。
11. カメラを建物のPoEネットワーク接続に接続します（「カメラをネットワークに接続する」 P.56 参照）。

インシーリング・セットでの取り付け



注意：カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源のあるネットワーク接続が可能であることを確認してください（「カメラをネットワークに接続する」を参照）。

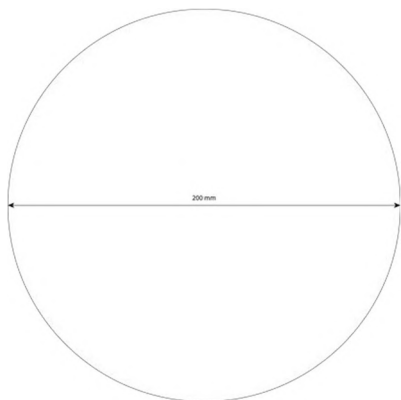
天井埋め込み型セットでは、MOBOTIX D71カメラを天井に埋め込み、接続部分やほとんどの部品を天井内に隠して目立たなく設置することができます。イン・シーリング・セットは、ホテル、レストラン、銀行、小売店、公共施設など、客や人の往来がある屋内の吊り天井にD71を設置する場合に特に適しています。

NOTE：MOBOTIXのウェブサイト www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates から、ドリルテンプレートをダウンロードしてください。

注意：ドリルテンプレートは、必ず元のサイズの100%で印刷またはコピーしてください。

手順

1. 天井に直径200mmの丸い穴を開ける（P.11「ドリル型板金」を参照）。



2. ネットワークケーブルは吊り天井の上に敷設し、十分なケーブルスラックを確保すること
3. カメラ前面のゴムプラグ①を外す。



4. 付属の六角ネジ I.3（P.21）4本とワッシャー I.4（P.21）1個でカメラを天井埋め込み型セット②に固定する。



5. 現場のネットワークケーブルとカメラのパッチケーブルは、標準のコネクターで接続します。余分なケーブルは、天井裏セット内に簡単に収納できます（「カメラの接続」P.53参照）。

- In-Ceiling Setを天井の開口部に設置し、プラスドライバーを使用してダブルテールガイドを時計回りに締め付けます。



- ゴムプラグM.7 (P.19)をカメラのネジ穴に押し込む。
- カメラを建物のPoEネットワーク接続に接続します（「カメラをネットワークに接続する」 P.56を参照）。

ウォールマウントでの取り付け

注意：カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源のあるネットワーク接続が可能であることを確認してください（「カメラをネットワークに接続する」を参照）。

ウォールマウントを使用すると、MOBOTIX D71を屋内および屋外の壁や延長部に簡単に取り付けることができます。IP65の耐候性（防塵・耐噴流性）を維持しています。ウォールマウントはRJ45のコンセントもカバーし、追加モジュール（WiFi、バッテリーなど）のためのスペースも十分に確保されています。

MOBOTIX D71をウォールマウントで取り付ける前に、固定具用の穴を開けておきます。付属のドリルテンプレート（「ドリルテンプレートPDF」参照）を使用することができます。

注意：ドリルテンプレートは、必ず元のサイズの100%で印刷またはコピーしてください!

NOTE：設置面が木材の場合は、ダボを使用しないでください。取付板を直接固定する場合は、ネジのみを使用してください。木材にネジを打ち込む際には、2mmのドリルであらかじめ穴を開けておくと良いでしょう（穴の深さはネジの長さよりやや浅めに）。

手順

1. 穴あけ用ドリルテンプレート (P.11「ドリルテンプレート」参照) を使って、穴あけ用の穴①をマーキングします。穴あけの際は、適切な8mmのドリルビットを使用し、60mm/1.2インチ以上の深さで穴をあけてください。

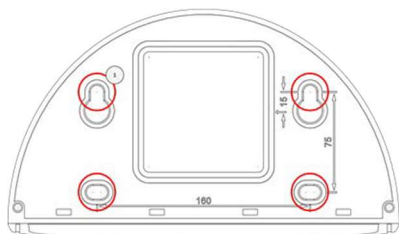


図8：ファスナーネジの位置決め用穴があるウォールマウント

2. ダボ W.8 (P.20) を、開けた穴に完全に押し込んでください。
3. 黒いウォールシーリング W.10 (p.20) から保護フィルムを取り外し、ウォールマウントの裏面に貼ります（表面は清浄で油分がないことが必要です）。



図9：ウォールマウント背面のウォールシーリング

4. ネットワークケーブルを四角い大きな開口部からウォールマウントに通してください。
5. 付属の六角ネジW.7 (P.20) を使って、ウォールマウントを目的の位置に設置します。
6. カメラ前面のゴムプラグを外す。



7. カメラのパッチケーブルに接続するために、現場のネットワークケーブルに標準のRJ45コネクタを用意します。余分なケーブルは、ウォールマウント内に簡単に収納できます（「カメラの接続」P.53参照）。

- 付属の六角レンチW.2 (P.20) を使って、長い六角ネジW.5 (P.20) とワッシャーW.6 (P.20) を各1個、カメラとウォールマウント底板を固定します。



- カメラを建物のPoEネットワーク接続に接続します（「カメラをネットワークに接続する」 P.56 を参照）。
- 底板W.2 (P.20)をカメラと一緒にウォールマウントに取り付ける。
 - 短い六角ネジ W.4 (p.20) を2本とワッシャー W.6 (p.20) を1個ずつ使って、底板①の裏側にカメラを固定します。
 - 長い六角ネジW.5 (p.20) を2本とワッシャーW.6 (p.20) を1枚ずつ使って、底板②の前面側にカメラを固定します。



- ゴム栓M.7 (P.19)をカメラのネジ穴（上図の①と②）に押し込む。

コーナーへの取り付け（コーナー/ポールマウント）

注意：カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源のあるネットワーク接続 が可能であることを確認してください（「カメラをネットワークに接続する」 を参照）。

寸法 : MOBOTIX D71 コーナー/ポール・マウント

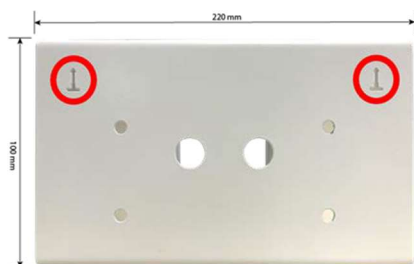


図10 : MOBOTIX D71コーナー/ポール・マウントの寸法 - 前面図

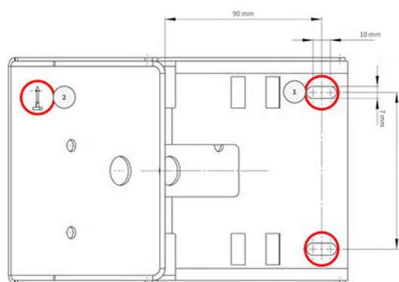
NOTE : 取り付けの際は、マウントの矢印が上を向いている必要があります。



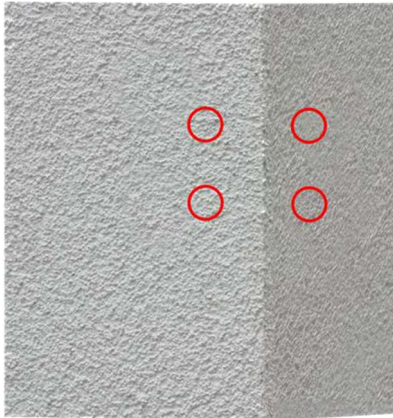
図11 : MOBOTIX D71コーナー/ポール・マウントの寸法 - 側面図

手順

1. 建物の角にある4つのスクリューアンカー穴①に、ドリルテンプレートを使って印をつけます。コーナー/ポールマウントの矢印②が上を向いていることを確認してください。



2. 10mmのウォールドリルで穴を開け、その穴に付属のダボをセットします。



3. 付属のネットワークケーブルを穴①に通してください。

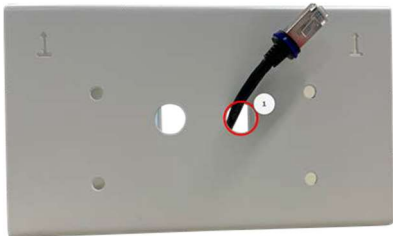


図12 : ネットワークケーブルの準備

4. コーナー／ポールマウントを、木ねじと洗濯バサミで建物の角にねじ込みます。



5. ウォールマウントをコーナー／ポールマウントに取り付ける方法については、「ウォールマウントを使用する」をご参照ください。P.47

ポールへの取り付け（コーナー/ポールマウント）

注意：カメラを取り付ける前に、取り付け位置に PoE Plus（802.3at-2009）規格に準拠した電源のあるネットワーク接続が可能であることを確認してください（「カメラをネットワークに接続する」を参照）。

NOTE：ポールの直径は60～180mmである必要があります。

コーナー/ポールマウントの寸法については、「MOBOTIX D71 コーナー/ポールマウントの寸法」を参照してください。P.50

手順

1. 図に示すように、付属のステンレス製ストラップをコーナー/ポールマウントの切り欠きに沿わせませます。



図13：スチールストラップによるポールマウントの準備

2. コーナー/ポールマウントのステンレス製ストラップをドライバーで締め付けます。必要であれば、ストラップの端を切り落とすこともできます。



図14：ストラップの締め付け

3. 付属のネットワークケーブルを穴①に通してください。

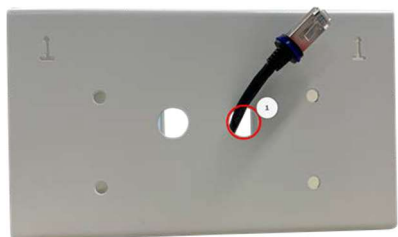


図15：ネットワークケーブルの準備

4. 壁掛け用マウントをコーナー/ポールマウントに取り付ける方法については、P.3「壁掛け用マウントを使用する」をご参照ください。47.

カメラとの接続

カメラへのすべての接続（ネットワーク、MiniUSB、入出力）は、カメラ上で直接行うことができます。このためこれ以上のアクセサリは必要ありません。カメラの電源はPoEスイッチで供給します。

USB-Cデバイスを接続する

USB-C端子を搭載し、例えば外部記録メディアが接続できます。

1. USB-Cポートを露出させるには、バヨネットキャッチ①を反時計回りに回転させて外し、青いゴムプラグを外します。



2. USB-Cコネクタをポートに差し込み、青いシールリングがカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。

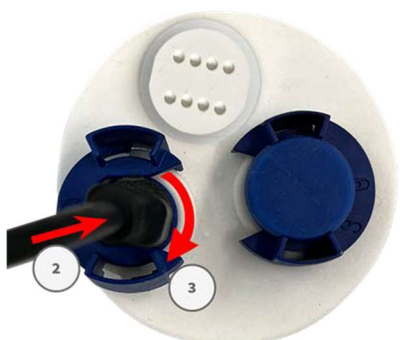


図 16: 青いシールリングがカチッと音がするまで、プラグをしっかりと押し込んでください。

3. バヨネットキャッチ③を時計回りに回転させて取り付ける。
4. USB-Cデバイスを接続します。

I/Oデバイスの接続

I/O接続端子を備えており、複数のI/O機器を接続することができます。

注意：スロットの使用目的や極性に注意しながら作業を進めてください（「I/Oソケットの割り当て」を参照 P.55）。

1. I/O コネクタを露出させるには、白いドーム型キャップ①を反時計回りに回転させて外します。



2. I/O 機器のケーブルをドームキャップの開口部から挿入する。

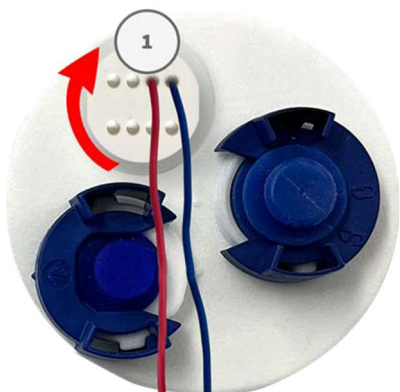


注意!スロットの極性に注意してください（「I/Oソケットの割り当て」を参照 P.55）。

3. 各ユニットの接続線を接続テリトリーの対応するスロット①に差し込み、密着していることを確認する。

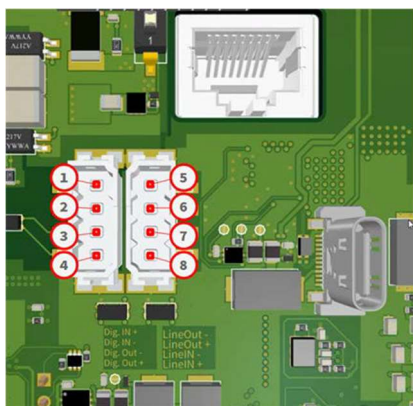


4. 白色ドームキャップ①を時計回りに回転させて取り付ける。



I/Oソケットの割り当て

MOBOTIX D71は、I/O接続端子を備えており、複数のI/O機器を接続することができます。



スロットは以下のように割り当てられています。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① Digital IN + | ⑤ Line OUT - |
| ② Digital IN - | ⑥ Line OUT + |
| ③ Digital OUT - | ⑦ Line IN - |
| ④ Digital OUT + | ⑧ Line IN + |

カメラをネットワークに接続する

注意：

- PoEスイッチは、カメラの100/1000 Mbpsイーサネットインターフェースと同様に、PoE Plus（802.3at-2009）に準拠したClass 4を提供する必要があります。
- スイッチには無停電電源装置（UPS）を使用することを強く推奨します。
- リモートで電源を供給するためのネットワークケーブルの長さは、最大100mまでです。



図17 PoE Plus（802.3at-2009）に準拠したPoEスイッチによる電力供給。

カメラをネットワークに接続する

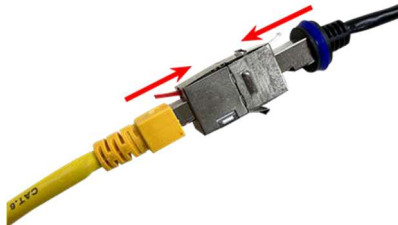
1. RJ45ネットワークコネクタを取り出すには、バヨネットキャッチ①を反時計回りに回転させて外し、青いゴムプラグを持って引き抜きます。



2. 付属のパッチケーブル②をネットワークコネクタに差し込み、青いシールリングがカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。



3. バヨネットキャッチ③を時計回りに回転させて取り付ける。
4. 付属のパッチケーブル 1.6 (p.18) を、建物の PoE ネットワーク接続部に標準コネクタで接続します。



カメラを操作する

このセクションには、次の情報が含まれています。

はじめに _____	60
ネットワーク設定 _____	60

はじめに

MOBOTIX D71は、現在使用しているブラウザ、またはMxManagementCenterで使用することができます。MxManagementCenterは、www.mobotix.com > Support > Download Center > Software Downloadsから無償でダウンロードできます。

手順

1. カメラをネットワークに接続する。ネットワークケーブルは、カメラへの電源供給も行います（「カメラをネットワークに接続する」参照）。
2. カメラへの接続を確立し、必要であればネットワーク設定を調整します。工場出荷時設定では、MOBOTIXカメラは10.x.x.xの範囲（例：10.16.0.128）の追加固定IPアドレスを持つDHCPクライアントとして起動します。ローカルコンピューターネットワークは、通常172または192の範囲のIPアドレスを持っています。ローカルネットワークにDHCPサーバーがあるか、または固定IPアドレスを使用するように設定されているかによって、カメラへの接続を確立し、ネットワーク設定を変更する方法がいくつかあります（p. 4）。60:
 - 動的なIPアドレスを持つネットワーク
ブラウザを使用するDHCPサーバーがカメラに割り当てたIPアドレスがわかっている場合は、ブラウザのアドレスバーにそのアドレスを入力するだけで、カメラに直接接続することができます。
MxManagementCenterを使用する。MxManagementCenterを使用すると、カメラの現在のIPアドレスを知らなくても、カメラの表示と統合が可能です。
 - 固定IPアドレスのネットワーク
カメラにアクセスするには、ローカルネットワークの範囲内にIPアドレスがあることが必要です。カメラのネットワークパラメータを設定するには、次のいずれかの方法を使用します。
Webブラウザを使って手動で行う。コンピュータのネットワーク設定を調整する必要がある場合があります。
 - MxManagementCenterを使用して自動的に行います。IPアドレスがローカル・ネットワークの一部でないにもかかわらず、カメラがMxManagementCenterに表示され、設定を変更することができます。
3. カメラを設定します。ブラウザまたはMxManagementCenterでカメラのユーザ・インターフェースを使用することができます。

ネットワーク設定

カメラをネットワークに接続したら、それに応じてMOBOTIXカメラのネットワーク・インターフェイスを設定する必要があります。この手順では、カメラのネットワークパラメータを設定・確認します。ネットワークに有効なDHCPサーバーがある場合、またはすでに10.x.x.xネットワーク（255.0.0.0ネットワークマスク）で動作している場合、カメラのネットワークパラメータを変更する必要はありません。カメラに直接アクセスできます。

ネットワークもパソコンも10.x.x.xネットワークのIPアドレス（192.168.x.xや172.x.x.xネットワークなど）を使用しない場合は、次のいずれかの方法でカメラのネットワークパラメータを変更してください。

- 手動設定
- MxManagementCenterを使用した自動セットアップ

NOTE : 以下の例では、工場出荷時のIPアドレスが10.16.0.99のカメラを使用することになります。このIPアドレスは、お使いのカメラのIPアドレスに置き換えてください。このアドレスは、カメラに貼られた小さなシールに記載されています。以下の例で使用されているIPアドレスが、ネットワーク上の他の機器によって使用されていないことを確認してください。

Windows

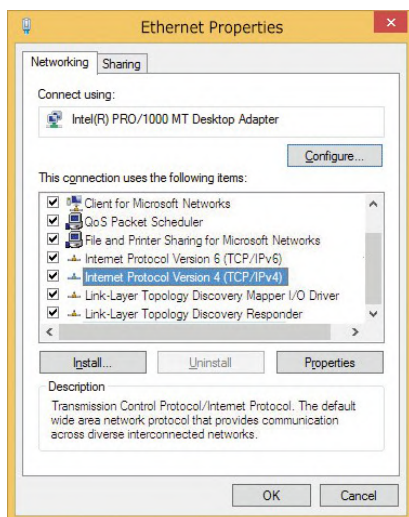


図18 : Windowsマシンのネットワーク設定

1. Windowsのコントロールパネル> ネットワークとインターネット> ネットワークと共有センター> アダプタの設定の変更> イーサネット を開きます。
2. 該当するネットワークアダプターを右クリックし、プロパティを選択します。

- インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティを開いてください。

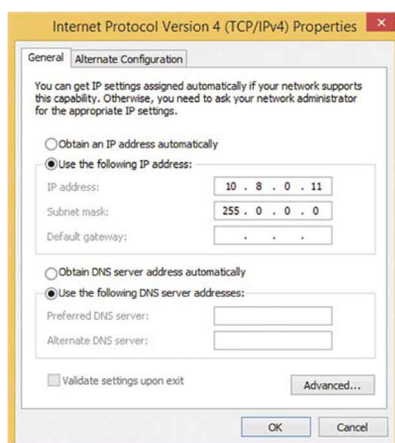


図19 : インターネットプロトコルV4のプロパティ

- [次の IP アドレスを使用する] を有効にします。このフィールドに10.x.x.xの範囲の IPアドレスを入力します（例：10.16.0.11）。
- OKをクリックすると、設定が適用されます。

Linux/Unix

- rootユーザーで端末を開く。
- `ifconfig eth0:1 10.16.0.11` とコマンドを入力します。
- これで、コンピュータにIPアドレス10.16.0.11が追加されました。

macOS



図20 : macOSマシンのネットワーク設定

- 「システム設定」 → 「ネットワーク」を開きます。
- イーサネットをクリックし、ConfigurationフィールドでManualリストのエントリーを選択し、10.x.x.xのIPアドレス範囲（例：10.16.0.11）のIPアドレスを入力します。
- Applyをクリックすると、設定が適用されます。

MOBOTIXカメラをブラウザで見る

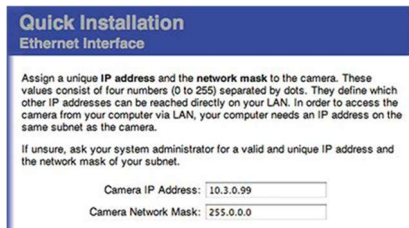


図21：カメラのウェブインタフェースでのネットワーク設定

1. ウェブブラウザでMOBOTIXカメラのウェブインタフェースにアクセスし、工場出荷時のIPアドレス（例：10.16.0.99）を入力します。
2. カメラのユーザインタフェースでAdmin Menuボタンをクリックします。クイックインストール（簡単設定）は、adminユーザーのアクセス認証を入力すると自動的に開始されます。

NOTE：工場出荷時のアクセス認証情報です。

ユーザー名：*admin*

パスワード：*meinsm*

NOTE：後でクイックインストールを実行することもできます（Admin Menu > Network Configuration > Quick Installation；リファレンスマニュアルを参照）。

3. クイックインストールの過程で、カメラのネットワークパラメータを入力します。

Admin Menu> ネットワーク設定> クイックインストールを実行することで、後からネットワークパラメータを変更することも可能です。

4. カメラを再起動すると、ネットワーク設定が適用されます。

MxManagementCenterのMOBOTIXカメラ

MxManagementCenter は、ビデオ監視システム全体をセットアップして使用するためのビデオ管理ソフトウェアで、さまざまなタスクやユーザーグループにさまざまな機能を提供します。

MxManagementCenter の最新リリースは、MOBOTIX Web サイト (www.mobotix.com > Support > Download Center > Software Downloads > MxManagementCenter) からダウンロードできます。

手順

MxManagementCenterを初めて起動すると、設定ウィザードが開き、自動的にMOBOTIX カメラの検索を開始します。見つかったカメラの数は、[デバイスの追加] アイコンの横にカウンターで表示されます。この番号は、ネットワーク上のMOBOTIXカメラの台数が変更された場合（新しいカメラの接続や既存のカメラの取り外しなど）、自動的に更新されます。

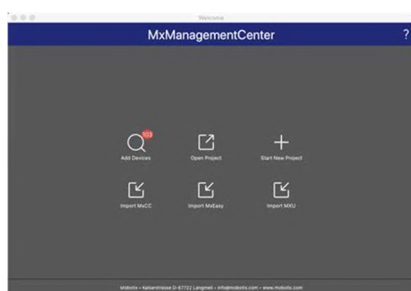


図22 : MxManagementCenterのスタート画面

1. デバイスの追加をクリックします。カメラは、リストまたはタイルで表示されます。リストボタンとタイルボタンで表示モードを変更します。

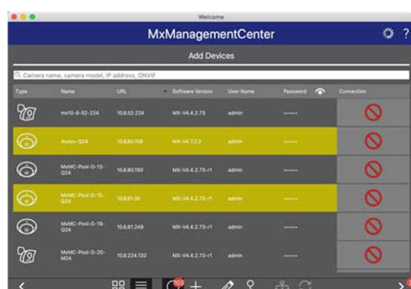


図23 : カメラリスト

このアプリケーションは、すべてのカメラの動作状態を自動的に監視し、対応するアイコンを使用して表示します。

例

カメラがコンピュータと同じサブネットにない。



カメラのユーザー名とパスワードがわからない。



NOTE : Bonjourサービス(en.wikipedia.org/wiki/Bonjour_(software))を使用して、アプリケーションは同じサブネット上のMOBOTIXカメラだけでなく、他のサブネットにあるカメラも検出します。通常、異なるネットワークやサブネットにあるカメラとの接続を確立することはできません。

NOTE : 例えば、DHCPサーバーのないネットワーク(固定IPアドレス)にカメラを組み込む場合IPアドレスの範囲がDHCPに加えてカメラがサポートする10.x.x.xの範囲と異なる場合などです。MxManagementCenterは、このようなカメラを自動的に設定し、既存のネットワークに「統合」することができます。

2. 設定したいカメラを選択し、プログラムウィンドウの下部にある「ネットワーク設定の編集」をクリックしてください。選択したデバイスのネットワーク設定の変更]ダイアログが表示されます。





図24 : 選択したデバイスのネットワーク設定を変更する

3. 選択したカメラのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

NOTE : 他のカメラの IP アドレスは自動的に 1 ずつ増加します。

4. Applyをクリックすると、設定が適用されます。

NOTE : この機能の詳細については、MxManagementCenterのオンラインヘルプまたはチュートリアル (www.mobotix.com > Support > Download Center > Documentation > Brochures & Guides > Tutorials) をお読みください。

カメラのソフトウェア

MOBOTIX D71の統合ソフトウェアは、ビデオモーション検知、長時間録画、アラーム・メッセージ、ビデオIP電話など、多数の機能を備えています。特に注目すべきは、AIを使った解析機能と、カメラにサードパーティーのアプリをインストールできることです。バーチャルPTZ機能により、マウスホイールやジョイスティックを使ってライブ画像を連続的にズームイン・ズームアウトすることができます。画像またはビデオシーケンスを記録する場合、ライブ画像の可視画像領域またはセンサー全体の画像のいずれかを選択して保存することができます。また、録画時に表示されていたリアルタイム画像部では見えなかった部分を調べることができます。

ウェブ・ブラウザを使用する代わりに、MOBOTIX のウェブサイト

(www.mobotix.com > サポート) から無償の MxManagementCenter をダウンロードすることもできます。このソフトウェアでは、複数のカメラを 1 つのモニターに表示し、音声付きのアラーム・ビデオ・クリップを簡単に検索および検証でき、警告機能も備えています。モバイルのiOSおよびAndroidデバイスでは、無料のMOBOTIX LIVEアプリが利用可能です。

このセクションには、次の情報が含まれています。

ブラウザでカメラのWebサイトにアクセス	68
基本設定	68

ブラウザでカメラのウェブサイトへアクセス

MOBOTIXの電源とネットワーク接続が確立したら、Webブラウザでカメラソフトウェアのインターフェイスを開くことができます。

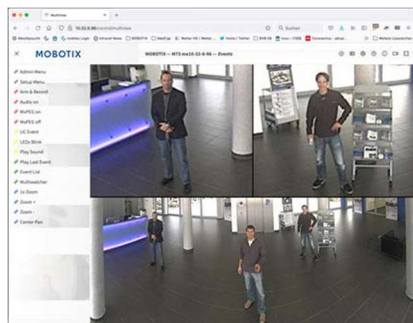


図25 : カメラのユーザーインターフェース

1. Webブラウザのアドレス欄にカメラの IPアドレスを入力します。

NOTE : IPアドレスのカメラは、必ずカメラ筐体の裏側またはステッカーからコピーしてください。

基本設定

管理メニューのパスワードブラウザでカメラの管理エリア (Admin Menu button) にアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

- デフォルトのユーザー名 : admin
- デフォルトのパスワード : meinsm

NOTE : 初回ログイン時には、パスワードの変更が必要です。

ユーザー名やパスワードの情報は、必ず安全な場所に保管してください。管理者パスワードを忘れてしまい、管理者メニューにアクセスできなくなった場合、パスワードは工場でしかリセット出来ません。この作業には、サービス料がかかります。

クイックインストールウィザードは、管理者メニューに初めてアクセスしたときに自動的に表示されます。カメラの基本設定を現在のアプリケーションシナリオに合わせて簡単に調整する方法を提供します。セキュリティ上の理由から、カメラを正しく設定した後、デフォルトの管理者パスワードを変更することを強くお勧めします。

ユーザー名とパスワードは上記のように正確に入力してください。すべての項目で大文字と小文字が区別されることに注意してください。

カメラの管理 : カメラの設定を変更するには、「Admin Menu」または「Setup Menu」で行います。

- Admin Menu : このメニューにはカメラの基本的な設定ダイアログ（パスワード、インターフェイス、ソフトウェアアップデートなど）が含まれています。
- Setup Menu : このメニューには、画像、イベント、録画の各パラメータを設定するためのダイアログが含まれています。これらの設定の一部は、ライブ画面の対応するクイックコントロールで変更することができます。

NOTE :

詳しくは、カメラのリファレンスマニュアルをご覧ください。

■

メンテナンス

このセクションには、次の情報が含まれています。

microSDカードの交換	72
カメラのクリーニング	73

microSDカードの交換

注意： microSDカードの取り外し、挿入、交換を行うには、カメラを分解する必要があります。microSDカードを取り外す前に、録画機能を解除し、カメラを再起動してください。守らないとデータ消失につながります！
microSDカードは、ライトプロテクトされてはいけません。
microSDカード交換の際は、基板に触れないでください

手順

1. **ストレージを無効にする：** microSDカードのストレージがまだ有効になっている場合、カメラのウェブインターフェイスでそれを無効にします。Admin Menu > 画像ストレージ > 外部ファイルサーバー/フラッシュデバイス を選択し、主なターゲットを"無効"にしてからカメラを再起動します。
2. **スクリューキャップを開ける：** コインドライバーや太めのドライバーを使って、カメラ背面のスクリューキャップ①を左側に注意深く回し、取り外します。



3. **microSDカードホルダーのロックを解除する：** microSDカードの金属カバー②を爪などで注意深くめくってください。



4. microSDカードを取り外す
5. microSDカードを挿入する。新しいmicroSDカードをホルダーに挿入し、金属製のカバーを軽く押しながらカチッと音がするまで閉じます。
6. スクリューキャップを閉めます。スクリューキャップを再びはめ込み、幅広ドライバーで注意深く右に回してください。
7. ストレージを有効化します。MxFFSでフォーマットされたmicroSDカードが挿入されている場合、管理メニュー > 外部ファイルサーバ/フラッシュデバイスのストレージでストレージを有効にすることができます。カメラを再起動すると、自動的に録画が開始されます。。

カメラのクリーニング

カメラハウジングは、研磨剤を含まないアルコールフリーの中性洗剤で洗浄してください。カメラの破損を防ぐため、付属の取付用品以外は使用しないでください（「マウント用品：納入品目」P.18参照）。



EN_10/22

MOBOTIX AG - Kaiserstrasse - D-67722 Langmeil - www.mobotix.com

MOBOTIXは、欧州連合、米国、およびその他の国で登録されたMOBOTIX AGの商標です。予告なく変更されることがあります。

MOBOTIXは、ここに含まれる技術的または編集上の誤りや脱落について、いかなる責任も負いません。無断転載を禁じます。

© mobotix ag 2021